

編集後記

今年は明治元年から150年の節目の年に当たります。そこで今号の特集では、明治期の土木・建築の変遷の一部を垣間見ることにしました。最後の伊東先生、後藤先生の対談はなかなか興味深く、「置き換えの技術」や「写しの意匠」にはじまり経験を積んで苦勞しながら日本独自のスタイルを築いた当時の技術者の心意気、苦勞等が目に浮かぶような気がしました。(M)

本誌の編集を担当してから4年が経ちました。振り返ってみると、入社当初は特集企画案の下調べや校正等々が主な業務でしたが、2年目には「特集」や「現場発見」の取材も任せられるように。初めての取材は初出張でもあり、無事こなせるか不安になりながら富山に向かったことを今でも覚えています。全国各地を取材してみていることは、どのプロジェクトも担当の方が熱意を持って取り組んでいること。その熱意を感じると、こちらも最高の誌面にしよう！と意気込みます。取材経験数が社内であることを誇りに思い、貴重な経験をさせていただいた皆様に感謝申し上げます。(T)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-4095
FAX 03-3551-4954
URL <http://www.nikkenren.com/>

発行者 有賀長郎

企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
広報委員会

制作 株式会社Kプロビジョン

デザイン 株式会社コンセント

印刷 株式会社耕文社

©2018 日本建設業連合会
「ACe建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

サステナブル建築事例集 を更新

日建連・建築設計委員会(尾崎勝委員長[鹿島建設(株) 副社長])は、サステナブル事例集に2017年度分として新たに16社47事例を追加しました。本事例集は、ライフサイクルエネルギーの低減や長寿命化など良質な建築物の普及を目指して、日建連会員企業の設計施工案件のうち、特に環境面への配慮や持続可能性に力を入れている事例を2009年度からWeb上で公開しており、紹介している事例は合計で463件を数えます。

今回追加したのは、第三者機関から「ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)」の評価を受けた事例や生物多様性の保全などの取組みを評価する「JHEP認証」を取得した事例、集約都市開発事業の認定を取得した事例など多岐に渡っています。

右のページでは、社名や建物用途など項目ごとの詳細検索のほか、任意のキーワードによる検索が可能で、図面や写真、主な採用技術などが記載されたシートを閲覧・ダウンロードすることができます。

http://www.nikkenren.com/kenchiku/sustainable_search.html



■ 本件の問い合わせ先

日建連 建築部 Tel : 03-3551-1118

【お詫びと訂正】

2018年2月号P.24「土木・建築 偉人伝(藤井真透 吉武泰水)」およびP.34「名画に見る土木・建築(エドゥアール・ヴエイヤール ヴァンティミーユ広場)」におきまして誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。

- P.24 8行目
(誤)粗流土 →(正)粗粒度
- P.34上段13行目
(誤)戦時中ナチに抵抗した
→(正)第一次大戦中から一貫してドイツの圧力に抵抗的な姿勢を保ちつづけた
- P.34下段24行目
(誤)一八四八年 →(正)一九四八年

読者の皆様にご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

お
知
ら
せ